


令和 4 年 4 月 1 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | | | |
|------|-----------------|-------|------------|
| 事業所名 | みらいあい | 事業所番号 | 2410301481 |
| 住 所 | 三重県鈴鹿市平野町7744番地 | 管理者名 | 野出 智子 |
| 電話番号 | 059-373-5237 | 対象年度 | 令和 3 年度 |

地域連携活動の概要

| | |
|--|---|
| <p><活動内容></p> <p>◆ 活動場所 : (株)スズカ未来 FP事業部 物流センター</p> <p>◆ 実施日程 : 2020年10月1日 ~ 現在継続中</p> <p>◆ 実施した生産活動 施設外就労の概要 : 商品の入荷受入から梱入れ、ピッキング作業、出荷までの一連の作業</p> <p>◆ 利用者数 : 8名</p> | <p><活動の様子></p> <p>◆ 活動の様子の写真・成果物の写真</p>  |
| <p><目的></p> <p>◆ 地域連携活動のねらい : 一般就労と同様の環境で作業をすることで、今後の目標を明確にするとともに、一般就労に必要な技術やコミュニケーション力を身につける。</p> <p>◆ 地域にとってのメリット : 施設外就労先におけるバリアレスな環境づくり及び人材確保</p> <p>◆ 対象者にとってのメリット : 地域と繋がることで「社会」との繋がりを実感し、他者と協働することの必要性を学ぶことができる。</p> | <p>◆ 活動内容の追加コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業手順を工夫しながら試行錯誤を繰り返すことで、利用者による通常運営が可能となってきている。 ・一般就労を視野に入れ、日々の作業を通して仕事におけるマナーや言葉づかいなどを学び、作業の公平性を図りながら、すべての利用者が活躍できる職場を目指す。 |
| <p><成果></p> <p>◆ 実施した結果 : 利用者個人の作業に対する責任感が増し、出勤率も安定している。また、新たに倉庫内にて食品を扱う部門でピッキングや梱入れを担えるようになった。</p> <p>◆ 得られた成果 : 商品を大切に扱う姿勢やお客様目線の対話が生まれ、職員だけでなく、利用者同士でのコミュニケーションが増え、スキルアップに繋がった。</p> <p>◆ 課題点 : 利用者各々が可能な範囲でどの作業に就いても対応でき、互いに支え合い、チームで一日の仕事をごこなせるようになっていきたい。</p> | |

連携先の企業等の意見または評価

| | |
|--|--|
| <p>◆ 連携した結果に対する意見または評価</p> <p>今まで、だれでもできる作業を意識していたが、どうしても個人に頼る部分があったが、改めてだれでもわかりやすくする作業の平準化へ進めることができたと思います。急ぎなどイレギュラー対応などで、判断が難しい場面も少なからずあると思いますが、協力してできていると思います。</p> <p>◆ 今後の連携強化に向けた課題</p> <p>スズカ未来として亀山センターの理念を物流センターでも運用していくための、亀山センター、支援部、みらいあいの3部門での意識の共有化と運用ルールの統一化が今後の改善の課題となっていくと思います。今まで覚えたことを変更するにあたり、納期が必要とされる別注品の納期調整や先入先出、ロット管理が、運用の鍵となると思います。</p> | <p>◆ 連携先企業名</p> <p>株式会社スズカ未来</p> <p>◆ 担当者名</p> <p>古市孝充</p> |
|--|--|